

ARMAMENT: CALCIUM

武装カルシウム

邪

じゃいん

猫

そりよ

淫

100

向成
け入

18歳未満の
購入・閲覧禁止



貴様…



何を！
思い出して
いるんだ？



ジャインツ
邪淫僧侶
other than that

お話は住職より
伺っております

聖白蓮様のような
ご高名な方が
御停泊なさると聞き
楽しみにして
おりました

いえ…
私などまだ
若輩で…

大したお構いも
できないかも
しれませんが

今晩はごゆっくりと
おくつろぎ下さい

ありがとうございます

早速
住職の元へ
ご案内いたし
ます

どうぞ
どうぞ
～

はい

よろしく
願います





あの御仁が
近頃評判の
白蓮聖人だ
そうだな

なんと
お若い...

あの若さで
阿闍梨と
なられたそうだ

おい
見たか?



若住職が
お呼びに
なつたの
か?

ああ...

ここも先代が
亡くなって
未だ半月余り...

性急に跡目を
継いだとはいえ



若住職も未だ
混乱の極みに
あろう

紐すが
お考ええになるのも
解らぬではない

ことごと...

先代の最期が
あのようではな...



或いは…



滝業中に
誤って
落ちたのか



…
…
…
どうしましたか？



先代が亡くなったのは
半月前の
布薩会の当日…

界限では…
その席で先代は…
とある懺悔を…
するのではないかと
専らでございました…

先代様が…？



…
私は長年
先代の下で修行し
筆頭弟子の
立場にありました故

未だに
信じられない
ことなのですが…



阿闍梨である
貴方様だからこそ
お話いたします

くれぐれも
ご内密に…

女犯、に

はい、ございます

言うまでもなく
仏門で異性と
交わることは
重大な破戒行為…

表立って
斯様なことが
行われていたが
わけでは
ございません

しかし…

事実 先代は
特に戒律に対し
大変厳しい立場を
とっておられました

亡くなる
ひと月ほど前から
先代が
里で女人を
買おう
姿を見たという者が
現れ始めました

期を同じくして
その顔色は失せ

殆どの務めを
我々に任せ、
寝所に籠るよう
なつていったのです

院内では
皆口々に
噂しました…

先代は
色欲の魔物に
取り憑かれて
いる、と

本当に先代が
魔物の類に取り
憑かれていたのか
どうかは
分かりませんが…

ただ…
私は恐れて
います。

白蓮聖人

私は…

この恐れに
どう対峙するべき
なのでしようか…

先代すら
打ち勝てなかつた
かもしれない
色欲という魔物…

それに囚われ
仏門の道に
迷いが生じる事を

あなた…

女人と
交わった
経験は…?

ご冗談を！
ある筈が
ありません！

あら…

では男色？

この院にも
お稚見さんが
おりましたね？

何を！

私はあの子達を
そういつた目で
見たことは
断じてありません！

私の事は？

ガ
バッ

シ
キ

何を
なさいます
聖人…

うっ…!?

なっ…





あらら...

口ほどにもない...

結局こっちはこれですか?

触ってもないのに...

く?

うお



し...聖人っ

いけませんっ...それは...

...それって何ですか?

ぐっ...!

びびび

う!

プルプル







よーしょよー

おちゅ

見えなくなっちゃいましたね？

ビュッ
ビュッ
ビュッ

あーあ...



中でビクビクしてますけど...

ほらどうしたんです？

あぁっ...！

それはっ...

うっう

アッアッ

アッ

♡♡

ポコ

ポコ...

ビュッ

アッ

アッ

アッ

アッ

失礼
いたします、
白蓮
聖人、
和尚

夕餉の準備が
整いましたので
お迎えにあがり
ました

食堂まで
おいでください

……

お心遣い
まことに
ありがとうございます……

でも……

あなたの和尚は
ここには
いませんよ

ハア

ハア



え？
では
どこへ？

本堂へ行かれ
ましたよ



たぽっ♡

たぽっ♡

たぽっ♡

本日最後の
お勤めだ
そうです

びくっ

びくっ

この時間まで
熱心ですね



たぽっ♡

自らを律し、
自らの行いを以て

和尚様は
いつも我々の
見本です

はいっ！



たぽっ♡

進むべき道へ
導いて下さる
のです



たぽっ♡

たぽっ♡

...



そうですか…

それは
素晴らしい
ことですね…

よほど
信頼されて
いるのですね、
住職様は…

お勤めから
戻られたら
お伝えして
おきますわ

皆さんが
お待ちです、
と…



よろしくお願
いたします

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ
♡

あーっ
あーっ



ふうっ…

まったく
あなたは…

お雅見さんに
あんなに信頼
されてるのに…

あの場面で
出しちゃうん
ですから…

たふん

しかも
こんなに

ホロホロ…

ゲ
ゲッ

そんなに気持ち
よかったですか？

ほあ…
ほあ…

……



れろ

おっ

く…あッ

これは色欲を
出し尽くして
あげなければ
いけないね…

もうこれ以上…

あああッ…!

色欲など
ありま
せんッ…

……

……



ホントですか？

今から試して
あげますから。

あぁあぁあぁ

ひん

そんなに言うなら
ガマンできますよね？



ちゅん

ちゅん



脚…
びんちゅんちゅん
ますよ…？

あぁあ

びんちゅん

びんちゅん



あつ...
そろそろ
しますか？

ス...

あなたが本当に
したいこと...？

ス...

...
痛いですか？

あ...

...それでも
いいですか？

ちろ
ちろ
ちろ

こんなに
硬くして...

ビクビクッ



はーっ
も、もう……
こんなこと

やめて
くだ……さい……
却下です♡

ずん
ずん
ずん

がらん

あっ!!

あっ!!
あっ!!
あっ!!

ギョッ
ギョッ

あっ!!

ギョッ

僧侶だって
人間である前に
動物です。

生き物の本質が
求める快樂自体を
否定することなんて
不可能なですよ?

あなたと契れて
今とても
気持ちいいです……っ

私は嘘を
吐きません……

あっ!!

ギョッ

あっ!!

ぐりっ

ぐりっ



あなただっ
もうとっく
に悟って
いるわ…

その
からだ
菩提で…



ただし

今度は
あなた
自身の
意思で…

が
ぶ
ぶ



今から拘束を
解いてあげます

さ…
もう一度
快楽に
身を委ね
て
みなさい？



…



ガッ
はっ

ガッ

おん

おん
ヤッ
ツ



白蓮
聖人っ……

あ

あん

ちゅお

ちゅお



ムキッ

あ

ゴクッ
ゴクッ

貴方が
いけない……

貴方が……
僧にありながら

こんなにも
美しく

ぎゅ

淫乱
だから

貴方が私を……

ゴホッ

墮落させたっ……

ゴホッ

ぎゅ

まあ非道い……

それがっ

貴方の

ぎゅ

答え

ん

のっけ

ゴッ





黙れええええっ!!!

ガッガッ

あつちのあつち

言い訳しながら
こんなに出すなんて...


自由にさせて
あげた途端

まったく...

はあっ


はあっ






瓜二つだな…

貴様の師に…



あの師にして
この弟子あり



という
ところか…
くつくつく…



師弟揃って
欲望の傀儡と
なった気分は
どうだ？



破戒僧よ…

ぐわ？



程なく後
だったな

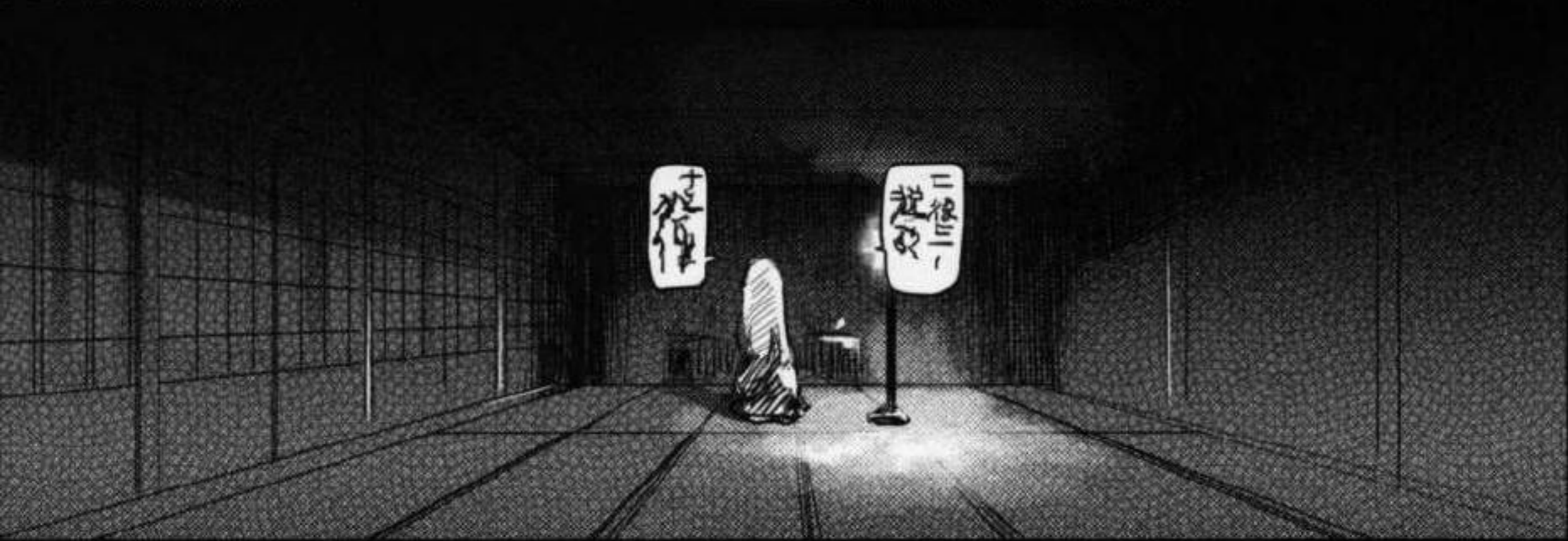


あの若僧が
先代と同じ
最期を選んだのは…





百鬼抄



十
三

三
二
一
三
二
一

グクッ：
おい書様：

昨日の若僧：
何とも情けない
男だったな：
ぐくくく：



書様のような
煩悩塗れの
聖人面女が

アレ位で
満足しているわけ
ないだろうなあ？

お
お
お



ざわわ

色欲狂いの

ざわわ
ざわわ

ざわわ
ざわわ

メス僧があ？

……ッ

しかしあの坊主共も……

音に聞く
聖白蓮サマとも
あろう者が

煩惱の化身である
この魔羅に
取り憑かれているとは思わなかったらう……

おい……聞いて
いるんだろ？

おん

ざわわ
ざわわ



輪廻の箍を
外れてまで
欲した永久の若さ

試させて
やるわ!

この下品で
淫乱な体で何人の
若僧を墮落させて
きたんだ?

今夜はどの
僧を墮として
やるうか?

なあ...
聖人サマ?

はなして!!

おはなして

おはなして

ゴロゴロ

ゴロゴロ

ゴロ

ワ

ウ

ウ

ウ

ゴ

ゴ

た

ガ

お

ん

だっ…

だれが
そんな
はしたない…

こんな腰砕けで
何を強がっている？

そろそろ認め
たらどうだ
聖白蓮…？

うそ
うそ
うそ

ほっ…

貴様のその
若返った肉体が
オス肉を欲している…

貴様はその
永久の命を賭しても
悟りなど開ける
はずがないことを…

ズ…

それ以上…

ぐんぐん

や…やめなさい！
ちょっと！

！

ズッ

発情家畜が！

ズ
ズ

びゅん

ズ

肉穴が
押し返して
きよるわ！

おお…？
ご自慢の法力か？

鋼…体ツ…！

ぎゅ
ぎゅ

ぐ
ぐ

無駄なあがきだ

おーら
スキあり！

どうした？
こんなにあやすく
侵入を許して
しまったぞ？

しかも昨日の
オスの子種が
まだ又メついて
いるな？

ズミズミ...

ズバ...

ズ...

ズ...

ズ...

ズ...

ズ...





思い出すまで
力を貸して
やろう...

ならば...

うん

うん

うん

うん

うん

どれも娑婆では
味わえぬ肉塊よ...

さあ
どれがいい？

目移りして自らでは
選べんか？



くっ...
随分若々しい
肉穴だなあ聖白蓮...

うん

うん

うん

そんなに
オスと交尾
したかったのか？

子宮は一度
閉じたんだらう？

ちが...
私は...

うん

うん

うん

貴様ら僧は
言い訳ばかりだな！

オスの僧はメスとの
交尾を禁じられて
いるのだろうか？

だからオス同士
ならば問題ないなどと
勝手な理由を付け

オス同士
糞穴を使って
交わる！

現に貴様も
昨日は若造の
尻穴を犯して
やったではないか

ぽ

あ

ひ！？

何を！

貴様も
僧らしく…

今度はケツで
また逝け！

ズ
ズ
ズ

あああ



貴様は牡を知らぬまま
走っていた自分
心の隅で
悔いていた

若返りの術を習得した
本当の理由は
走いへの恐れなどでは
ない…

牡と交尾
したいがためだ！



あッ♡

あッ♡

何度でも着床
させてやるぞ！

煩惱の子種を！

あ

ひああ！！

どぶっ

グッ

グッ

びん

グッ

グッ





聖……？



はっ



大丈夫……
ですか？



はあ……

だいじょう……

はあ……

最低……
なのに……

私……

は——っ

は——っ……



……何でも
ありませんよ
星……

大丈夫です……

大丈夫
なんかじゃ
ない……

もう……
カラダが求めて
抑えられない

交尾したい……っ

貴様が望んだ
その若く美しい
菩提は今や……

ただ僧どもを
墮落させるための
ものに過ぎぬ……

ならば
墮として墮として
墮とし尽くせ……ッ

はあ……

はあ……

貴様の欲望が
満ちるまで……

はあ……

はっ

そうして貴様は
自らの肉欲を
満たすため

阿闍梨の顔で
さまさまな
寺へ潜り込み

ん？

ががががが

ほわわわ

我が代わりとして
次々と僧侶どもを
墮落させた

ぐほっ

んっ

んっ

うっ

びゅん

んあ

うお

びゅん

聖人っ

どん

聖様！
いまます！

時には
一度に何人もの
若僧どもの
煩惱の捌け口と
なった……

ほあっ
ほあっ

ぽん



貴様の体で
果てた墮落僧は
十や二十では
きくまい...

気持ちイ
ですか？

だが相手は
詮並みの
人間...



直ぐにそれに
飽いた...

そうして
更なる快楽を
求めた貴様は...



底知れぬ
貴様の欲望は

ダメだ...

うお...

おおッ



バケモノ
妖怪共に
体を許し

それ
快樂を
貪った



おどろ

ア

あは

アハハ

アハハ

アハハ

アハハ



本質
だったのだ!

聖様!

もう辛抱
たまらんツ!



出しこ
くさひゃいっ

いいですっ!
好きなだけっ!





見て下さい
星...

鬼衆の方々が
お契り
下さいました...

は...

は...

ほら...
こんなに♡



エ...

エ...

ん...

ク

ホ

ん...

ホ

貴様の仲間は何とか隠そうと
したようだが



邪淫は
すぐには
露見した





あんな
美しい姿を
しておいて

なんと
恐ろしい…

化け物共と
密通していた
らしいじゃ
ないか

おい
いたか？

あの
聖人だろう？



聖人面した
化け物売笑婦
だつたわけだ



格好の
理由付けを
与えること
になった…

貴様の墜落は
貴様の力を恐れ
疎んでいた宗派の
者達に

ゴ

だが安心しろ
聖白蓮…

いつか必ず
新たな欲が
貴様を再び
呼び起こす

ゴ

そして貴様と
貴様の欲が
永久である限り…

我もまた…
貴様の裡に居続ける

ゴ

それまで漸次…
我と共に眠ろう
ではないか

ゴ

さあこの扉が
閉じた時

貴様は
新たな世界を
目にするこ
となる…

其処が…

魔界だ…

エ

エ

三

天

一

二

あ と が き

魔界への封印前の出来事ということでひとつ。

今回勉強のために読んだのは
今東光著『稚児』です。

いつも参考にする資料が間違っている。

学んだこと！
無明火(ムミョウカ：男根のこと)
法性花(ハウショウゲ：肛門のこと)

今後 いかがわしい本を読んだときの感想を大変知的に書きたい場合

「無明花が枯れ果てました」
「法性花が濡れそぼりました」
「無明火が法性花を蹂躙せしめる場面がいとあはれでした」

など書くとみんなに一目置かれるかもしれません。

竹刈シウム

飛 経 僧 侶

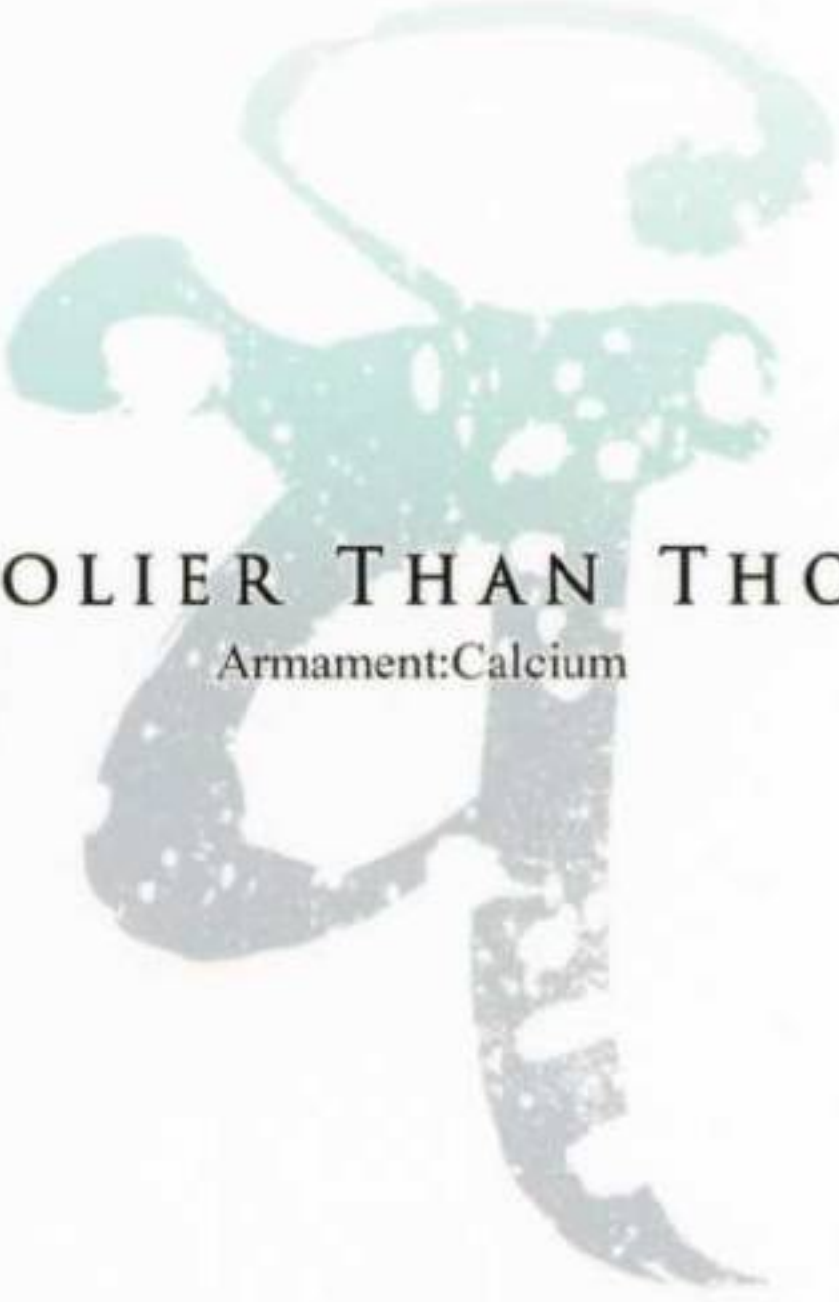
H O L I E R T H A N T H O U

2017年8月11日 初版発行

著者
竹刈シウム
Mail:takecalcium@gmail.com

発行
武装カルシウム

印刷
株式会社 緑陽社



HOLIER THAN THOU

Armament: Calcium

